

世界に飛躍する特産品 香港市場動向レポート

社団法人 鹿児島県特産品協会 流通企画課

今年1月、経済成長著しい香港において、県輸出促進協議会と合同で「かごしまフェア」を開催した。この事業は、本県の農林水産物や加工食品の輸出拡大と定着を図ることを目的に、県輸出食品振興連絡協議会と県漁連から当協会が受託して実施した事業である。伊藤祐一郎鹿児島県知事のトッブセールスも実施された。

フェア会場となったスーパーマーケット「シティスーパー」でのオープニングセレモニーでは、伊藤知事の広東語での挨拶の後、上野新作県漁連会長、長屋初男県経済連会長、シティスーパーのトーマス・ウー社長らを交えて鏡割りをし、詰めかけた来場者に芋焼酎や焼き芋を振舞ってPRした。

シティスーパーは香港に4店舗、台湾に2店舗あり、一部の雑貨品のほか、日本食品を中心に世界各国の品質の高い食品を揃えたスーパーマーケットである。また、フードコート（飲食店街）もあり、直営の飲食店では、寿司、量り売りのサラダ、揚げたてのトンカツやコロッケなども売っており、「かごしまフェア」



シティスーパー店頭でのさつまいもの販売

『特産品 心の誇り 活かせる先人の知恵』



焼酎の鏡割りでオープンしたフェア

に合せてオリジナルの「黒豚弁当」も製造販売するなど、絶大なる協力をしてくれた。本県特産品については、5年前から3年間開催した「かごしまフェア」の成果もあり、菓子、さつま揚げ、うなぎ、味噌、温泉水、黒豚加工品、お茶、焼酎など、10社約20品目の加工食品が定番商品として売られている。

今回、出品した県経済連の黒豚精肉、県漁連のブリ・カンパチ・鰹のタタキなども好評で、ウー社長やバイヤーらが、是非、継続して取扱いたいという意向を示してくれた。

自由貿易港として、また、国際金融都市として発展を遂げてきた香港社会はすでに成熟した感があり、世界中の商品が集まる「ショッピング・パラダイス」、あるいは「美食の都」と称されることがある。香港の生活者の最近の関心事は、日本と同じく「食の安全・安心」や「健康」であることから、本県特産品の市場性は高く、また、中国本土などへの販路拡大の拠点としても、香港は格好の都市であると考えられる。

今後、香港市場に本気で売り込みたいという製造企業の積極的な提案を期待している。



(上) 大韓航空機 (下) 中国東方航空機

県特産品協会会員各位におかれましては、発展著しい韓国や中国市場への販路拡大や社員研修などのためにもこれらの助成制度を活用され、積極的に両路線を利用させていただくことを期待しております。

なお、鹿児島空港は、来る4月1日(日)に開港35周年を迎えることから、これを記念し、当日は空港でいちき串木野市の特産品PRや焼酎試飲会、さつまいも食品PRなど様々なイベントを予定しておりますので、是非、足をお運びください。

鹿児島空港国際化促進協議会
鹿児島県企画部 交通政策課長 田口 芳郎氏

鹿児島空港国際化促進協議会は、鹿児島空港の国際化を促進し、南九州の拠点的な空港として更なる発展を図ることを目的に県内48の委員で構成された組織です。

鹿児島空港は国内20路線のほか、国際線については、ソウル線、上海線の2路線が就航しており、「アジア・ゲートウェイ」の形成を目指す鹿児島県にとって重要な玄関口となっているところ。

本協議会では、このソウル線、上海線の利用促進を図るため、国際交流を行う10人以上の団体に対する助成や海外の展示会、商談会などに参加するビジネス利用者を対象にした助成などを行っています。

『伝えようさつまの 「技」と「心」』

百貨店における物産観光展は、百貨店にとっては、大きな売上を確保でき、店舗に多数のお客様を集客するという効果だけでなく、百貨店本来の使命である文化や情報の発信を行い、地域社会への貢献をするという二重の効果が期待できます。また、開催県にとつては、その土地の歴史や文化に根ざした特産品や観光に関する旬の情報をタイムリリーに発信することで、評判の良い商品の定番化と観光客の誘致の促進を図る意味からも大変大切な催しであります。

井筒屋黒崎店(北九州市)では、平成16年10月に、新店舗移転3周年の核催事として、また、折りしも平成16年3月に九州新幹線一部開業もあり、身近になった「かごしま」をキーワードに、「第1回鹿児島県の物産と観光展」を開催いたしました。黒崎店では初めての開催ということもあり、初日より大盛況のスタートとなりました。特に、初日のイベントであった焼酎特別販売会には全国的な焼酎ブームに後押しされ、早朝より多数のお客様が詰めかけ大盛況となりました。第2回、第3回でも、焼酎イベントは物産展の名物イベントとなり、鹿児島県展はお客様から絶大なご支持をいただいております。

流通最前線情報
鹿児島県の文化や素材を生かした安全・安心な商品を
福岡 (株)井筒屋 黒崎店
食品部 セールスディレクター 伊藤 和俊さん



物産観光展の朝礼で指導をしている伊藤さん



昨年10月第3回開催時お客様でにぎわう会場

本年4月には、お客様からの鹿児島焼酎の品揃え充実への多数の要望を受け、黒崎店の1階に「九州焼酎蔵」を展開することとなりました。鹿児島焼酎蔵の焼酎約130銘柄を中心に九州各県の焼酎200銘柄を取り揃え、九州の焼酎に関する情報発信の拠点とする計画です。

元来、鹿児島には、東シナ海・太平洋の海の恵み、温暖な気候がもたらす畜産・農産品など、自然の恵みが豊富にあり、これらが鹿児島特有の「食文化」を作り出しております。鹿児島で生まれた食の特産品は、同じ九州の福岡でも味わうことはできず、鹿児島は食文化の宝庫といえます。こうした鹿児島文化に根ざし、また、素材の良さを十分に生かした商品を今後も開発し、地道に抜げていくことが必要です。単に「かごしま」の冠をつけた商品というだけでは売れません。本当に安全・安心で、体に良い商品が求められています。そうしたニーズに応えられる商品が売り込んでいけば、九州新幹線全線開通後は、以前にも増して桜島のごとく熱を帯びるのは必定と思われれます。



観光まごころワッペン

観光まごころ県民運動推進会議は、県民総ぐるみで観光客を温かく親切に迎える「観光まごころ県民運動」を推進することを目的に、県特産品協会などの観光関連団体や経済団体などで構成されています。

主な活動として、「観光まごころワッペン」の着用促進や「観光まごころ体験だより」の募集、まごころのこもったおもてなしに対する表彰などに取り組んでいます。去る2月5日に「NHK大河ドラマ『篤姫』放映に向けた受入体制づくり」をテーマとしたシンポジウムを開催した際には、観光関係者や一般県民約450名の方々にご参加いただき、おもてなしの心の大切さについて、気運が大いに盛り上がったところです。

県特産品協会会員の皆様においては、「観光まごころ県民運動」の幅広い展開や実践により一層のご理解とご協力をいただき、観光客が再び訪れたいと思うような観光がごまづくりにより、大いに貢献していただけるものと期待しております。

観光まごころ県民運動推進会議
鹿児島県観光交流局観光課長 武盛 武士氏